



平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年5月6日

上場会社名 株式会社アサカ理研 上場取引所 東
 コード番号 5724 URL <http://www.asaka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 慶太
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 佐久間 良一 TEL 024-944-4744
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月6日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 個人投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第2四半期の連結業績（平成27年10月1日～平成28年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	3,915	△13.3	115	△20.6	105	△29.2	174	43.1
27年9月期第2四半期	4,515	10.5	145	-	149	-	121	-

(注) 包括利益 28年9月期第2四半期 172百万円 (38.8%) 27年9月期第2四半期 124百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	68.55	68.27
27年9月期第2四半期	48.28	47.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第2四半期	5,653	2,489	43.8	972.95
27年9月期	5,504	2,350	42.5	920.48

(参考) 自己資本 28年9月期第2四半期 2,473百万円 27年9月期 2,340百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	-	0.00	-	15.00	15.00
28年9月期	-	0.00	-	-	-
28年9月期(予想)	-	-	-	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成28年9月期の連結業績予想（平成27年10月1日～平成28年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	△10.8	205	△2.8	188	1.3	244	93.9	95.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年9月期2Q	2,572,300株	27年9月期	2,572,300株
② 期末自己株式数	28年9月期2Q	29,908株	27年9月期	29,908株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年9月期2Q	2,542,392株	27年9月期2Q	2,521,724株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、平成28年6月30日（木）に個人投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府および日銀による経済・金融政策を背景に、企業収益の改善や設備投資の増加が見られ、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方、世界経済の成長減速や地政学的リスクの高まりなどの影響により、先行きについては不透明な状況で推移しました。

当社の主要顧客の属する電子部品・デバイス工業分野においては、スマートフォンや自動車向けの需要により堅調な生産動向となっております。しかしながら、中国の景気減速の影響等から、一時的な減産の動きもあり、貴金属事業において、当第2四半期連結会計期間の日本国内での集荷が減少いたしました。

また、主力製品である金の価格は、米国の金融緩和縮小の影響により、ドルベースでの価格は下落傾向にありましたが、当期間においては底堅く推移しました。

このような環境の中、当社グループでは、いわき工場における、レアメタル・レアアースリサイクル事業及びマレーシア子会社での貴金属事業の立ち上げに取り組んでまいりました。いわき工場においては、これまで研究開発の機能が中心でしたが、1月に製品を初出荷し、工場としての操業を開始しました。マレーシア子会社においては、従前のスクラップの転売から、貴金属等の回収へと事業転換が進み、収支が改善しております。また、既存事業についても、製造工程の自動化等によるさらなる効率化やコスト削減に注力し、グループ全体として、企業体質の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、貴金属の販売価格が前年同期を下回り、受託加工取引の割合が増えたことにより製品の販売数量が減少したことから、売上高は、3,915百万円（前年同四半期比13.3%減）となりました。利益面では、マレーシア子会社での収支改善が進んでいるものの、環境事業において銅の販売価格が下落し、製品の販売数量も減少したことによって、営業利益は、115百万円（前年同四半期比20.6%減）、経常利益は、105百万円（前年同四半期比29.2%減）となりました。また、当第2四半期連結会計期間に、福島県いわき市より「工場等立地奨励金」を受領することが確定し、補助金収入104百万円を特別利益として計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は、174百万円（前年同四半期比43.1%増）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりです。なお、各セグメントの金額については、セグメント間取引を含んでおります。

(貴金属事業)

当事業の主要顧客の属する電子部品・デバイス工業分野の生産は、当第2四半期連結会計期間において一時的な減少があったものの、総じて堅調に推移しました。主力製品の金については、販売価格が前年同期の水準を下回り、受託加工取引の割合が増加したことから、当社が販売する製品の数量も前年同期を下回りました。これにより、売上高は、3,535百万円（前年同四半期比13.4%減）となりました。セグメント利益は、製品販売価格が低下したものの、製造の効率化によるコスト削減やマレーシア子会社での収支改善等によって、111百万円（前年同四半期比5.6%増）となりました。

(環境事業)

当事業の主要顧客の属する電子回路基板業界の生産は、低水準にとどまっており、電子回路基板向けエッチング液および銅ペレットの販売数量は、前年同期を下回りました。また、銅ペレットの販売価格も前年同期を下回り、前期発生した商品のスポット販売の反動もあり、売上高は、329百万円（前年同四半期比17.4%減）となりました。セグメント損益は、売上高の減少により、15百万円の損失（前年同四半期は40百万円の利益）となりました。

(その他)

その他に含まれるシステム受託開発事業、分析事業および運輸事業の売上高は、114百万円（前年同四半期比15.5%増）となり、セグメント利益は、9百万円（前年同四半期比154.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(資産の部)

前連結会計年度末に比べて148百万円増加し、5,653百万円となりました。

主な要因は、たな卸資産が72百万円、受取手形及び売掛金が49百万円増加したことです。

(負債の部)

前連結会計年度末に比べて9百万円増加し、3,163百万円となりました。

主な要因は、借入金が195百万円増加し、社債が180百万円減少したことです。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べて139百万円増加し、2,489百万円となりました。

主な要因は、利益剰余金が136百万円増加したことです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ71百万円減少し、567百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、16百万円となりました。(前年同四半期比90.2%減)

これは、主な収入要因として、税金等調整前四半期純利益が209百万円あったものの、主な支出要因として、たな卸資産の増加額が77百万円、特別利益として計上した補助金収入が104百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、99百万円となりました。(前年同四半期は339百万円の収入)

これは、主な支出要因として、有形固定資産の取得による支出が117百万円あったものの、主な収入要因として、補助金の受取額が33百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は、17百万円となりました。(前年同四半期は851百万円の支出)

これは、主な収入要因として、短期借入金の純増額が303百万円あったものの、主な支出要因として、長期借入金の返済額が66百万円、社債の償還が180百万円、配当金の支払額が38百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

昨今の事業環境や最近の業績動向を踏まえ、平成28年9月期(平成27年10月1日～平成28年9月30日)の業績予想について、本日(平成28年5月6日)修正発表しております。詳細については、本日発表の「平成28年9月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,231,290	1,159,411
受取手形及び売掛金	314,690	363,897
商品及び製品	393,890	295,855
仕掛品	206,278	350,663
原材料及び貯蔵品	59,002	85,113
繰延税金資産	44,684	44,103
その他	143,010	196,943
流動資産合計	2,392,847	2,495,988
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,114,556	2,089,603
減価償却累計額	△888,734	△927,397
建物及び構築物(純額)	1,225,821	1,162,206
機械装置及び運搬具	2,192,904	2,273,930
減価償却累計額	△1,845,194	△1,885,163
機械装置及び運搬具(純額)	347,710	388,767
土地	1,206,024	1,205,636
リース資産	46,100	46,100
減価償却累計額	△41,463	△43,538
リース資産(純額)	4,636	2,561
建設仮勘定	24,811	19,233
その他	181,798	184,112
減価償却累計額	△160,952	△161,377
その他(純額)	20,846	22,734
有形固定資産合計	2,829,850	2,801,139
無形固定資産	23,657	22,661
投資その他の資産		
投資有価証券	56,549	51,478
退職給付に係る資産	78,904	94,796
その他	122,776	187,187
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	258,197	333,428
固定資産合計	3,111,705	3,157,229
資産合計	5,504,552	5,653,217

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	135,923	157,043
短期借入金	807,904	1,099,018
1年内償還予定の社債	210,000	60,000
リース債務	3,484	1,828
未払法人税等	15,506	17,665
賞与引当金	86,135	71,589
その他	299,513	278,039
流動負債合計	1,558,469	1,685,184
固定負債		
社債	250,000	220,000
長期借入金	943,666	848,102
リース債務	1,045	522
繰延税金負債	127,674	145,199
長期未払金	223,574	214,579
資産除去債務	49,901	50,349
固定負債合計	1,595,862	1,478,754
負債合計	3,154,331	3,163,938
純資産の部		
株主資本		
資本金	504,295	504,295
資本剰余金	351,422	351,422
利益剰余金	1,496,169	1,632,319
自己株式	△16,423	△16,423
株主資本合計	2,335,463	2,471,613
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,813	11,572
為替換算調整勘定	1,435	218
退職給付に係る調整累計額	△11,486	△9,773
その他の包括利益累計額合計	4,761	2,017
新株予約権	3,731	3,731
非支配株主持分	6,264	11,916
純資産合計	2,350,220	2,489,278
負債純資産合計	5,504,552	5,653,217

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	4,515,218	3,915,957
売上原価	3,753,865	3,187,577
売上総利益	761,353	728,380
販売費及び一般管理費	616,077	613,037
営業利益	145,275	115,342
営業外収益		
受取利息	14	34
受取配当金	65	84
受取賃貸料	4,497	4,287
受取保険金	212	6,672
業務受託料	—	8,506
為替差益	17,984	—
その他	1,993	5,308
営業外収益合計	24,768	24,892
営業外費用		
支払利息	16,755	12,643
為替差損	—	17,526
その他	3,803	4,194
営業外費用合計	20,559	34,365
経常利益	149,484	105,868
特別利益		
固定資産売却益	705	—
新株予約権戻入益	364	—
補助金収入	22,333	104,200
特別利益合計	23,402	104,200
特別損失		
固定資産売却損	107	14
固定資産除却損	1,275	55
特別損失合計	1,383	70
税金等調整前四半期純利益	171,503	209,998
法人税、住民税及び事業税	6,154	13,065
法人税等調整額	48,863	21,085
法人税等合計	55,018	34,151
四半期純利益	116,485	175,847
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,275	1,563
親会社株主に帰属する四半期純利益	121,761	174,283

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)
四半期純利益	116,485	175,847
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,474	△3,241
為替換算調整勘定	924	△2,027
退職給付に係る調整額	1,212	1,713
その他の包括利益合計	7,611	△3,555
四半期包括利益	124,097	172,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,993	171,539
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,896	752

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	171,503	209,998
減価償却費	110,279	104,263
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,601	△14,458
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△12,234	△12,892
受取利息及び受取配当金	△79	△118
支払利息	16,755	12,643
為替差損益 (△は益)	△17,891	△4,602
補助金収入	△22,333	△104,200
固定資産売却損益 (△は益)	△597	14
固定資産除却損	1,275	55
売上債権の増減額 (△は増加)	△18,180	△52,804
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△56,918	△77,798
仕入債務の増減額 (△は減少)	17,138	21,544
その他	△28,172	△43,599
小計	151,942	38,046
利息及び配当金の受取額	672	1,474
利息の支払額	△14,341	△13,084
法人税等の支払額	△771	△11,199
法人税等の還付額	32,852	—
補助金の受取額	—	1,400
営業活動によるキャッシュ・フロー	170,354	16,638
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△42,074	△117,923
有形固定資産の売却による収入	962	373
補助金の受取額	385,023	33,339
無形固定資産の取得による支出	—	△897
その他	△4,682	△14,148
投資活動によるキャッシュ・フロー	339,228	△99,257
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△234,368	303,878
長期借入金の返済による支出	△572,882	△66,544
社債の償還による支出	△30,000	△180,000
自己株式の取得による支出	△38	—
自己株式の処分による収入	30,993	—
配当金の支払額	△37,312	△38,135
非支配株主からの払込みによる収入	—	4,900
その他	△7,875	△6,866
財務活動によるキャッシュ・フロー	△851,483	17,231
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,514	△6,493
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△343,415	△71,881
現金及び現金同等物の期首残高	1,172,961	639,608
現金及び現金同等物の四半期末残高	829,546	567,727

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	環境事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,084,208	398,902	4,483,111	32,107	4,515,218
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	67,239	67,239
計	4,084,208	398,902	4,483,111	99,346	4,582,457
セグメント利益	105,588	40,033	145,622	3,861	149,484

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム受託開発事業及び運輸事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	環境事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,535,181	329,535	3,864,717	51,240	3,915,957
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	63,521	63,521
計	3,535,181	329,535	3,864,717	114,762	3,979,479
セグメント利益又は損失 (△)	111,536	△15,498	96,038	9,830	105,868

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム受託開発事業、分析事業及び運輸事業であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。